

令和7年度学校評価（前半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和7年度学校評価（前半）の集計結果をお知らせします。先日は保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「人を大切に、心ゆたかにたくましく生き抜いていく子～みんなで問題を解決する力を育てる～」を教育目標とし、教育活動を進めています。今年度は昨年度と同じ質問内容で実施しています。今回の集計結果を真摯に受け止め、2学期以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えています。

①子どもは、自分で（自分たちで）考えて解決しようとしていますか。（保護者）

新しいことやわからないことがあったとき、まず自分で（自分たちで）考えようとしていますか。（児童）

子どもたちが自分で（自分たちで）考えて解決するような取組をしている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	24%	64%	10%	2%
児童（高学年）	52%	39%	8%	1%
児童（低学年）	68%	23%	8%	1%
教職員	24%	74%	2%	0%

②子どもは、友達と協力できていますか。（保護者）

いろいろな活動で、友達と協力して取り組んでいますか。（児童）

子どもたちが友達と協力できるように取り組んでいる。（教職員）

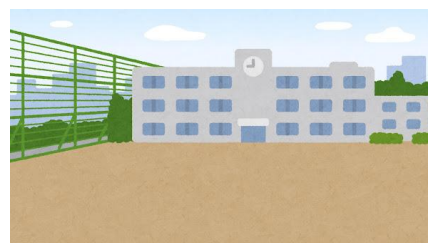
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	31%	63%	5%	1%
児童（高学年）	60%	33%	6%	1%
児童（低学年）	69%	27%	3%	1%
教職員	29%	69%	2%	0%

③子どもは、進んで体を動かしたり運動したりしていますか。（保護者）

自分から進んで体を動かしたり運動をしたりしていますか。（児童）

子どもたちが進んで体を動かしたり運動したりするように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	37%	41%	19%	3%
児童（高学年）	54%	20%	18%	8%
児童（低学年）	77%	16%	5%	2%
教職員	23%	64%	13%	0%



④家庭では、子どもが進んで学習に向かえるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分から進んで学習に取り組むことができましたか。(児童)

子どもたちが進んで学習に向かえるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	33%	56%	9%	2%
児童（高学年）	44%	40%	13%	3%
児童（低学年）	65%	29%	3%	3%
教職員	32%	64%	4%	0%

⑤家庭では、子どもが自分や人を大切にできるように声かけなどをしていますか。(保護者)

自分や友達を大切にできましたか。(児童)

子どもたちの自分や人を大切にできる心が育つように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	43%	54%	3%	0%
児童（高学年）	71%	26%	3%	0%
児童（低学年）	80%	15%	4%	1%
教職員	44%	56%	0%	0%

⑥家庭では、子どもたちの健康を意識して生活リズムを整えるようにしていますか。(保護者)

健康に注意して生活できていますか。(児童)

子どもたちの健康管理について取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	40%	54%	6%	0%
児童（高学年）	51%	32%	12%	5%
児童（低学年）	76%	19%	3%	2%
教職員	41%	59%	0%	0%

⑦学校（学級）は、子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるように支援していますか。(保護者)

最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができていますか。(児童)

子どもたちが最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができるように支援している。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	30%	64%	4%	2%
児童（高学年）	48%	37%	10%	5%
児童（低学年）	74%	20%	4%	2%
教職員	33%	61%	6%	0%

⑧学校（学級）は、子どもたちが自分から進んであいさつができるように熱心に取り組んでいますか。(保護者)

自分から進んであいさつをすることができましたか。(児童)

子どもたちが自分から進んであいさつができるように取り組んでいる。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	36%	58%	5%	1%
児童（高学年）	56%	25%	11%	8%
児童（低学年）	77%	16%	4%	3%
教職員	41%	53%	6%	0%

⑨学校（学級）は、子どもたちが安全に過ごせるように安全指導（事故・事件・災害など）に熱心に取り組んでいますか。（保護者）

事故や事件などにあわないように安全に生活できていますか。（児童）

子どもたちが安全に過ごせるように安全指導（事故・事件・災害など）に取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	41%	56%	2%	1%
児童（高学年）	75%	20%	3%	2%
児童（低学年）	85%	10%	5%	0%
教職員	56%	42%	2%	0%

⑩学校（学級）は、子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりしていますか。（保護者）

自分にはよいところがあると思いますか。（児童）

子どものよいところを見つけたり、伸ばしたりできるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	36%	59%	4%	1%
児童（高学年）	51%	32%	7%	10%
児童（低学年）	75%	18%	3%	4%
教職員	50%	50%	0%	0%

⑪学校（担任）は、子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じていますか。（保護者）

困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。（児童）

子どもや保護者の質問や相談に熱心に応じている。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	50%	47%	2%	1%
児童（高学年）	42%	32%	15%	11%
児童（低学年）	68%	24%	5%	3%
教職員	48%	52%	0%	0%

⑫子どもたちは、明日の学校を楽しみにしていますか。（保護者）

明日の学校を楽しみにしていますか。（児童）

子どもたちが明日の学校を楽しみになるように取り組んでいる。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	46%	43%	8%	3%
児童（高学年）	58%	22%	8%	12%
児童（低学年）	80%	13%	4%	3%
教職員	47%	51%	2%	0%

【学校と家庭の連携に関して】

設問②「いろいろな活動で、友達と協力して取り組んでいますか。」、設問⑤「自分や友達を大切にできましたか。」に関して、90%以上の子どもが肯定的に回答しています。特に低学年児童は設問②について、昨年度と比べて5%程度上昇しており、友達と協力して取り組むことの大切さを実感しているようです。学校教育目標に『人を大切に』、目指す子ども像に『自分も人も大切にできる子』を掲げて日々の教育活動を進めています。また、学校では、毎月ハートフル週間を設けて人を大切にすることについて考える機会を意図的に設けています。さらに、設問⑤「家庭では、子どもが自分や人を大切にできるように声かけなどをしていますか。」で昨年度の同時期とほぼ同じく、95%以上の多くの保護者の方が肯定的に回答している点から、子どもたちが人を大切にすることを意識して日々の生活を送ることができていると考えられます。今年度は授業中において、毎時間に設定する問いの答えを導き出すために、友達と話し合ったり、一緒にホワイトボードに考えを整理してまとめたり、全体で友達の意見を傾聴しながら思い



を広げていったりする活動を増やしています。このように友達とともに学ぶ時間の楽しさを感じているのかもしれませんが、引き続き、授業や学校行事などにおいて積極的に友達と協働する機会を設けるとともに、人を大切にすることについて子どもたちとともに考えていきたいと思ひます。

設問④「自分から進んで学習に取り組むことができましたか。」、設問⑦「最後まであきらめずに、勉強や課題に取り組むことができましたか。」に関して、高学年の子どもは共に約85%、低学年の子どもは共に94%が肯定的な回答をしています。これは、昨年度冬と同設問⑦と比べると、高学年・低学年共に肯定的な回答が増加、特に高学年では設問④・⑦共に6%も増加しており、自分たち自身で自主的に物事に挑戦したり、ねばり強く課題に取り組んだりしようという意識の高まりが表れてきています。これは、設問④の保護者の肯定的な回答が約90%であることから、家庭で子どもたちが学習に向かえるようにご支援いただいている成果だと思ひています。また、設問①「新しいことやわからないことがあったとき、まず自分で考えようとしていますか。」に関して、90%以上の子どもが肯定的な回答をしています。学校において、授業中は一人一人の子どもを見取り、子どもの考えのよさを評価したり、わからないところについては個別に支援したりしています。また、今年度は高学年を中心に「明読」の家庭学習を取り入れ、事前に教科書類を読み込み、わかったこと・わからないことを見つけ、各自で問いをもって学校での学習活動に臨む取組を行っています。5月末に子どもたちに対して実施した「明読」に関するアンケートの回答を読むと、「色々な考えや疑問がみつかり、それを授業で生かしたり、考えたり、もっと深めたりできる」「授業の前にしっかりと考えているし、そのおかげで、手を前よりもたくさんあげられた気がする」という前向きな意見が見受けられます。今後も自主的に学びに向かう力を伸ばしていけるように指導を工夫していきます。ご家庭でも引き続き家庭学習等で



【学校での取組に関して】

設問⑨「事故や事件に合わないように、安全に生活できている」ことに関して、どの立場の回答者も95%以上が「そう思う」「大体そう思う」と答えていました。この結果は、ここ数年同じ質問内容でも同程度の高い結果が見られ、継続して安全な生活を行おうとしていることがわかりました。学校では、実験や工作において器具を正しく扱ったり手順を確認したりすること、調理実習で火傷に注意すること、運動中に周りの様子を確認すること、廊下を走らずに歩くことなどを指導しています。また、交通安全に関しては、1学期の早い時期から、低学年を中心に、警察や地域の方による安全についての歩道歩行体験や自転車乗車体験を行いました。これらの取組が継続されていることで、安全面への大切さを子どもたちは感じているのだと思ひています。一方で、気を付ける大切さはわかっていても、ついつい休み時間で気持ちが高ぶり廊下を走ってしまったり、友達との会話が弾んで歩道から外れてしまったりする子どもたちの姿を見かけることもあります。安全への意識をもって行動につなげられるように、引き続き指導をしていきたいと考えています。

高学年の子どもに注目すると、設問⑩「自分にはよいところがあると思ひますか。」に関して、昨年度の冬には肯定的な回答が75%であったところが今回83%となり、8%の増加が見られました。学校では、一人一人のキラリと光る素敵な力を見つけ、声をかけて伸ばせるように日々の教育活動にあたっています。学級での活動の中でも、「生き方探究パスポート」等を利用して、自分のこれまでの頑張りや、得意なことを見つめる機会を設定しています。教科等の学習でも、子どもたちが個々に全力で取り組んだことを見取り、ほめることができるように意識しています。また、今年度は金曜日の放課後に自主清掃の時間を設定しましたが、毎回教室や廊下などを熱心に掃除する子どもたちがいて、教職員も大いにねぎらうように心がけています。2学期以降もスポーツフェスティバルに代わる体育フル洛央やハートフル洛央などの大きな行事も予定しており、行事をやり遂げることで自分のよさに気付ける機会もあるはずで、自分の長所に自信をもつことは、これからの時代を生き抜いていく上で大切な力となります。引き続き、子どもたちの頑張りや認めたり、やり遂げたことをほめたりすることを通して、子どもたちが自分のよさに自信をもてるように、一人一人への声かけを大事にしていきたいです。

一方で、高学年の子どもは、設問⑪「困ったことがあるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に関して、約26%が否定的な回答をしています。また、設問⑫「明日の学校を楽しみにしていますか。」に関しては約20%が否定的な回答をしています。これらは昨年度冬の結果と比べてもあまり変わらない結果となりました。過去の時代と比べ、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。学校外で楽しんだり、便利に使ったりできるものがあふれています。しかし、そんな環境の中でも、学校でしか味わえない貴重な体験、身に付けられる力があると考えています。子どもたちがわくわくするような授業、友達との温かいふれあい、今しかできない全力で取り組むという経験。もちろん学校での活動でうまくいかないこともあるかもしれませんが、そんな時こそ、先生や学校にいる大人たちが励まし、一人一人の力を見取って伸ばしていく。子どもたち自身も安心して相談できる、そんな学校にしていけるように、教職員一同、工夫を重ねてまいります。